

# 福山民報

発行  
福山民報社  
福山市津之郷町  
津之郷 970-1  
Tel.084-952-2662  
FAX084-952-2660

## 放課後児童クラブの改善求める

### 最善の利益保障の運営に

放課後児童クラブは、児童の遊びと生活の場ですが、子どもたちの最善の利益の保障を目的としており、個々の状況や発達段階を踏まえた育成を図る必要があります。

基準では、一教室の定員は概ね40人、少なくとも指導員2名以上を配置するよう定められており、屋外・室内での様々な遊びが展開されます。しかし、近年の猛暑で毎日のように熱中症アラートが発表されており、その場合は外遊びができず、室内で過ごすなくてはなりません。

塩沢みつえ市議は市議会の一般質問で、夏休み期間中はクラブの利用人数が増加するため、教室の過密状態が予想される中で酷暑への対応を行わなくてはならず、子ども

ちが安心して過ごせる生活の場になっているのか、実態を質しました。

対して市長は、「夏休みの利用者数は約1100人増加するが、子どもたちが過ごす部屋にはすべてエアコンが設置されている」と答えました。

しかし、体を動かして遊ぶスペースはなく、一日を通してクラブで過ごすことになる子どもたちにとって、利用者が増えても教室数が変わらないのであれば、狭い環境での事故発生の要因にもつながりかねません。

塩沢市議は、学校との連携によって、使用教室を増やすなど、適切な生活環境となるよう、改善を求めました。また、子どもへの適切な支援・関行を行う上で放課後児

童支援員の役割は重要ですが、低い処遇と人手不足が問題となっています。

塩沢市議は、支援員の充足状況を質し、支援員が健康で働き続けられる環境づくりと低い処遇の改善を求めました。

市長は「職員配置は基準を満たしている」、「有給休暇の取得が進むよう体制の充実、初任給の引き上げなど、処遇改善も図ってきた」と答弁しました。

塩沢市議は、放課後児童クラブの過密な現状の実態調査を丁寧に行った上で、子どもたちの最善の利益の保障が実現できるクラブ運営を求めました。



## 戦後最大の分岐点！戦争国家にさせない！

【目前に迫っている解散総選挙を前に、小選挙区広島6区の予定候補、しげむら幸司(重村・こうじ)さんが決起集会で決意を語りました。一部をご紹介します。】

石破首相は、憲法9条を変えるという点では、安倍さん(安倍元首相)よりも直球で、そのやり方ではダメだと批判していました。憲法9条の1項、2項は無くして、「国防軍」を明記した憲法にするべきだというくらいの憲法改憲論者であり、さらには徴兵制論者。核兵器については、アメリカの核兵器を持ち込んでアメリカと共同で運用するということまで公言している、核戦争も辞さないという人物です。

そんな政治家がトップになるということ自体が、日本がおかしな方向へ傾いてしまっているということではないでしょうか。

日本共産党は102年、命がけで戦争反対、戦争をしてはいけないんだということを貫いてきた。そして国民一人ひとりの命と人生が大切なのだという事を主張し続けてきた政党です。

いま、戦後政治最大の分岐点に向かっています。平和国家なのか、戦争国家なのかという、この大きな分岐点の下で、絶対に戦争国家にさせない。この思いで立候補を決意いたしました。

みなさんも同じ想いだと思います。普通に暮らしている人が、戦争など望むわけがない。国民のみなさんに大いに訴えて勝ち抜いていきたい。大平さんの議席を奪還したい。こういう思いで頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。



しげむら幸司  
広島6区  
予定候補  
決意を語る